



アクセサリファイル・特別版
ACCESSORY
FILE
special

フルテック



フルテックが総力を結集した究極の電源供給ユニット。これまでの電源タップとは次元が違う。

文・林正義 Masamichi Hayashi | Photo・M. Matsunaga

ミ エンハンションで世界中から大好評を得た「NCFパワーヴォルト」がいよいよ国内導入（受注開始）となる。今回は魅力的なミドルクラス電源ケーブルの「オリジナル・パワーNCF（G）」とあわせて家がで試聴した。

究極の電源タップ
NCFパワーヴォルト

これまでの電源タップとは次元が違う。コンポネントサイズの二重箱に収められ、10・5キロのずっしりとした重量級である。特別グレード・アルミブロックからの削り出し。要塞のような堅牢さ、精密さとはこれだろう。ヘアラインのアノダイズ仕上げが美しい。
2連式コンセント×4で、タ

S P E C

- シャーシ ● アルミニウム合金（削りだし）、ヘアラインアノダイズ仕上げ
- AC入出力 ● 15A IEC入力 / UL 合格NEMA 5-20R二連式コンセント4個
- 金属パーツはすべてα（Alpha）プロセス（超低温/特殊電磁界処理）処理済み
- アース/アース接続 ● シャーシ接地ポスト
- IECインレット ● FI-09 NCF（R）-α（Alpha）純銅導体ロジウムメッキ
- NCF Booster-Brace（NCFブースターブレース） ● 4つの電源コネクタードランピングサポート
- 定格電流 / 電圧 ● 15A 125V A.C. 1875VA
- 内部配線 ● Alpha-12...フルテックの超低温 / 特殊電磁界処理 α（Alpha）プロセスで処理されたα（Alpha）-OCC導体燃線 / UL-CL3準拠絶縁体：特級耐熱、難燃性PVC
- 外部寸法 ● W350×H169×D137mm
- 重量 ● 10.5kg
- 問い合わせ先 ● フルテック service@furutech.com

ップ数は計8個口。日につくのはNCF配合の「ブースター・ブレイス」だ。差し込み口すべてに採用。静電気の発生を防ぎつつ強力な振動減衰効果を発揮する。内部配線にはαOCC単結晶無酸素銅を採用。各コンセントへはインレットからすべて同じ長さで配線され、インレットによる音の違いもない。インレットはFI・09 NCF（R）、コンセントはGTX・D NCF（R）という最高グレードを併せている。

二重箱としている理由だが、これは国によって異なるコンセントの形に対応したものだ。下を共通にして半分から上げだけ変えればよいようにした。本体内の底部には電磁波吸収材のGCC・303を設置し、EMIノイ

NCF POWER VAULT ¥968,000

電源タップ

ズを効果的に吸収。

最後に4本脚のスパイクだ。ローレット加工した非磁性ステンレスで、防振ゴム付きのスパイク受けとセットになっている。フロアリングに床だと防振ゴムを下にして、カーペットであれば逆に使うのだ。ネジ式で高さ調整もできしつかりバランスがとれた。

これほど歪みや濁りのない電源ユニットは聞いたことがない

部屋の印象が変わる存在感といおう。ファーストワット（モノパワー）と並ぶと見栄えがする。プースターブレイスにより、ケーブルがしつかり安定してくれる。CDにDAC、プリ、パワーアンプなどを接続したが、見た目もサウンドも盤石というべき安定感だ。

土台が微動だにせず、これほど歪みや濁りのない電源ユニットは聞いたことがない。S/Nと分解能がとつもないレベルで、全域にわたり音楽そのものが澄みきる感じだ。電気エネルギーがすみずみまでいきわたり、ステージいっぱい居並ぶ音源の位置情報が正確そのもの。高

プラグ部ごとに入る構造で外部からの振動を徹底的に防いでいる



性能レンズのようなシャープな遠近描写が素晴らしい。特に声と木管は空間に広がる倍音の艶やかさが際立ち、幸田浩子の「オペラアリア集」はあまりの生々しさに鳥肌が立った。

ジャズのピアノトリオはライドシンバルのレガートが実に滑らかで粒だち良好。ピアノの強い打鍵も決して音が歪みっぽくならない。ウッドベースはキレよく豊かで開放的だ。総じて音楽が活き活きと流麗に流れ出す。そんな感触だ。

幅広い機器や音楽ジャンルに対応するのも「パワーヴォルト」の魅力だろう。昔のフレンチポップなども肩肘はらず、明るく軽やかなリズムで楽しめた。